

TAKE FREE
OCT 2017 vol.01

ミャンマー進出検討企業、必読のビジネス情報誌

MYANMAR
★
JAPON

MJ
BUSINESS
MJビジネス

MYANMAR JAPON BUSINESS

ミャンマー・ジャポンビジネス バンコク版

BANGKOK VER.

TOP×INTERVIEW

ミャンマー観光業の未来とは？

オウン・マウン
ホテル・観光大臣

SPECIAL ISSUE

“最後の秘境”が本格始動

ティラワ経済特区

BUSINESS NEWS

日系企業の動向を網羅！

ビジネス・ニュース・
ダイジェスト



ミャンマー進出を支援する
ビジネス誌、**創刊!**

情報が命。

ミャンマービジネスの成功は、

成長著しいミャンマーで事業を興したいという企業様を支援いたします。
法人登記から、オフィスや工場開設、人材雇用から事業の周知まで、
現地No.1日本語情報誌の「ミャンマージャポン」だからできる“フルサポート”。

弁護士・会計士・各種公的機関との連携による

ミャンマーの制度面から

- 事業がミャンマー国内で規制されていないか
- どのようなライセンスが必要か
- 商流、スキームの検証等

提携会社との連携や現地スタッフによる

リサーチ&データ分析

- ミャンマーの実態調査(定量・定性調査)
- パートナー、代理店探しの調査
- 統計データのレポート等

リサーチ

(市場調査・信用調査)

法的
アドバイス

オリジナル
情報の提供

提携先選定

(ディストリビューター・合併相手先)

財務アドバイザー

(デューデリジェンス・株価算定)

アドバイザー基本契約(US\$500 / 月)

会社設立申請無料!

※商社・建設・教育関連の上場企業をはじめ個人企業まで、幅広くご利用頂いております

ミャンマージャポンは、中小機構の海外展開パートナー・東京商工会議所の国際展開アドバイザーです



まずはお気軽に
お問い合わせください

✉ info@myanmarjapon.com

ヤンゴン
オフィス TEL: +95-(0)9-31019178

東京
オフィス TEL: +81-(0)3-5698-2155

<http://myanmarjapon.com/support.html>

5F, Sakura Tower, 339 Bogyoke Aung San Rd., Kyauktada Tsp.

東京都中央区日本橋3-2-14 新橋町ビル別館第一1階

4 **特集** アジア “最後の秘境” が本格始動
ティラワ 経済特区

6 **TOP 対談**
ホテル・観光大臣 オウン・マウン氏

8 **使える！** ミャンジャポ特製 MAP ヤンゴン全域

11 **ビジネス・ニュース・ダイジェスト**

15 **コラム** 「DICA's EYE」 「JETRO ストリーム」

本誌は、ミャンマーで発行されている「MJビジネス」を編集・転載したものです。

『MYANMAR JAPON BUSINESS BANGKOK VER.』 10月号 Vol.01 2017年10月15日発行

発行人 Ei Ei Chaw (00510)
No.94, Padamyar Street, (3) Ward, Kamaryut Township, Yangon
編集長 武田和人
編集 Aye Chan Su Sithu Aung Thinzar Wint Htel Thandar Linn Ye Aung 小川秀樹 下山徹 渡邊鉄雅 U Kyaw Tun Naing
カメラ Thiha Zaw
デザイン 大橋史彦 松原由典
印刷 Aung Thein Than (設立番号 00435)

MYANMAR JAPON Co., Ltd.
代表 永杉豊
#0503, Sakura Tower, 339, Bogyoke Aung San Road, Kyauktada Township, Yangon

●広告掲載・本誌設置に関するお問い合わせ
Tel: +95-9-31019178
Tel: +81-3-5698-2155 (日本)
info@myanmarjapon.com

MYANMAR JAPON ONLINE
http://myanmarjapon.com

「ミャンマーでビジネスを考えている企業の皆様へ」

ヤンゴン発「ミャンマー」のビジネスに使える日本語情報誌「ミャンマー」のオンライン版に「広告を載せてみませんか?」

A サイドバナー **US\$500/月**
パソコンではファーストビュー範囲に、スマートフォンではメインコンテンツの直下に表示されます。
広告サイズ:横260ピクセル × 縦150ピクセル
<表示ページ:トップページ、ニュース記事ページ>

B センターバナー **US\$900/月**
ページ中段に表示されます。ニュース記事ページでは、記事の直下に表示されるので、注目度は抜群です。
広告サイズ:横700ピクセル × 縦150ピクセル
<表示ページ:トップページ、ニュース記事ページ>

お問い合わせ
MYANMAR JAPON CO., LTD.
☎ +95-9-3101-9178 (日本語可)
✉ info@myanmarjapon.com
5F, Sakura Tower, 339, Bogyoke Aung San Rd., Kyauktada Tsp.
東京オフィス
☎ + (81)-(0) 3-5698-2155 色 + (81)-(0) 3-5539-3515
東京都中央区日本橋3-2-14 新橋町ビル別館第一1階

日系建築デザイン事務所
godai DCMM
www.godaidcmmyanmar.com

designed

OUTER ROOM Pearl Condo, HIMARI Pearl Condo, THE WEST Pearl Condo, The JAPAN BRAND SAKURA TOWER, TOKYO LOVE STORY 32nd ST, Grace Nail Salon Kanbawza ST and more, reStaurant hotel office showroom residence...

担当: 松田 TEL +95-(0)9-2618-83118 MAIL E298148@gmail.com

Leopalace21

コワーキングオフィス
1日無料体験チケット配布中

充実のサポート
抜群のアクセス
快適なインターネット環境

レオパレス 21 ミャンマー支店
☎ +951-382-660 (オフィス) +959-2523-66866 (総)
電話受付 9:00 ~ 18:00 (土日祝を除く) Mail : info@leopalace21mm.com
Prime Hill Business Square, Room 401-405, No.60,Shwe Dagon Pagoda Road,Dagon Township, Yangon, Myanmar.

サービスの詳細はこちらから！



アジア“最後の秘境”が本格始動

ティラワ経済特区



わずか3年弱でゾーンAの95%の工業用地が売り切れたティラワ経済特区（SEZ）。2017年に入り、次々と工場が稼働し、いよいよその存在感を高めつつある。

※これは2017年7月に発行されたものの一部です。2ヵ月に及ぶ全12ページの内容はウェブサイトへアップしています。http://myanmarjapan.com/sf

数年前と景色が一変 32社の工場が稼働

2017年に入り、ティラワ経済特区（SEZ）が本格的に動き出してきた。日通、鴻池運輸、郵船ロジスティクスなど日本を代表する物流企業やIHIといった大手企業が次々と開業。現在、同地区で工場を稼働しているのは32社。2400Ha（東京ドーム約500個分）ある敷地のなかで、最初に開発したゾーンA（405Ha）はほぼ完売となり、ついにはゾーンB（101Ha）にも着手。確実に、そのプレゼンスを高めつつある。

同SEZは下記の実施体制からもわかる通り、ミャンマーと日本が半々で出資した一大事業。日本では競合関係にある住友商事、三菱商事、丸紅の3社が提携し、そしてティラワだけで100名以上が関わっているというJICAも開発を進めて

いることから、重要なプロジェクトなのは明らかで、昨年末、安倍晋三首相がアウン・サン・スーチー国家顧問兼外相に約束した8000億円の経済支援の一部も、数年後には同SEZ周辺にも充てられるだろう。事業拡大を望む日系企業において追い風となるのは必至。

ミャンマーに工場を作るメリットは、大きく2つに分類され、5000万人強のマーケットを狙う国内需要への訴求、もう一つがASEANのなかでも低い賃金による製造及び輸出事業。11年の民政移管以降、ヒト・カネ・モノが一気にこの国に流入、ようやく種まきの時期が終わり、具体的な成果を求める時期に突入しようとしている。

1年前と今では景色も変わった。日タインフラは改善され、まるでTVゲーム“シムシティ”のように工場が建設済み。数年前、視察に訪れた人間は「ティラワは野原ばかりで何も無い」と揶揄



ヤンゴン市内から車で1時間程度にあるティラワ経済特区

ティラワ経済特区実施体制



したものだが、現在では前述した通り32社の工場が稼働し、その発展を裏付けるかのように物流企業が次々と事業を開始している。

発展を遂げるミャンマーを映し出すティラワ SEZ

これから進出を検討する企業にとっての最大の悩みのインフラ整備については、粛々と進められ、改善の一途を遂げてきた。今でもティラワ SEZ では月に3回ほどの停電は起こるものの、他の工場団地と比較するとはるかに安定し、整備は今も同 SEZ 内外で継続中。ヤンゴンとティラワを結ぶ道路の渋滞についても策が講じられる。

当然、海外進出には、メリット、デメリットが付きものだが、それでもミャンマーでの工場運営において、同 SEZ に入居するメリットは大きい(詳細は右下を参照)。認可申請から30日以内に可否がわかり、それをサポートしてくれるワンストップ・サービス・センターの存在、そして比較的安定したインフラを担保。他の工業団地がインフラ面などでグローバル基準を満たしているとはいい難く、選択肢としてティラワ SEZ を選ぶのは、ある意味自然なことといえる。

一方、進出においては、細かいリスクを挙げればキリがない。戦後焼け野原から20年以上かけて、経済大国に成長した我が国とその過程は大きく乖離し、当然リスクもつきまとう。なにより、この国はあまりにも急激に発展しすぎた。未だ法整備も商習慣も満足いくものではないといわざるをえないし、為替や人件費高騰の不安も拭い去れない。ただ、それでもわかっていることは、着実に「いい方向に進んでいる」ということ。大局を捉えれば、大きな可能性を秘めているのは間違いない。

数年前、2000ドル以上したSIMカードが、わずかの期間で1500Ksにまで下がることを当時誰が予測しただろうか。今では4G回線を当たり前のよう利用でき、日本では一部規制されているUBERのようなサービスも使えるようになった。「あらゆるものは標準化されていく」のは成長過程の宿命でもあり、ミャンマーにおいてもそれは徐々に顕在化している。ただ、それはこの国だけに起こっていることではなく、世界規模で進んでいることであり、フラット化(画一化)するグローバリゼーションを迎えようとしているのが、現在のミャンマーなのだ。



稼働している工場は全79社中32社のため、建設中が大半



王子製紙は早くから進出し、国内向け製品を生産している

そして、ティラワ SEZ では、すでに労働集約型モデルだけではなく、高付加価値産業とはいえなくても高い技術が必要な製品に着手している工場もあり、新しい息吹も生まれ始めている。今のティラワ SEZ は、成長を続けるミャンマーそのものを映し出そうとしている。

経済特区(SEZ)と工業団地の違いとは？

工業団地への投資は外国投資法に基づき、SEZは外国投資法よりも有利な条件と規制緩和を享受することができるSEZ法に基づく点が最大の違い。例えばSEZでは、製造業以外のサービスにも優遇措置が与えられ、ティラワ SEZ のゾーン A には製造業に特化した「Industrial area」のほか、「Residential & Commercial Area」が存在し、スーパーホテルなどの宿泊施設も建設される(2018年7月開業予定。全129室、レストランなども予定)。



日本人にも馴染みのスーパーホテルが完成すれば、出張者も楽に通道できるだろう(実際は写真と異なる場合あり)

ゾーン A 進捗状況

※ 2017年6月8日現在

【進捗別内訳】 土地予約契約締結済み79社+レンタル工場予約3社(7区画)、工事着工済み67社、操業開始済み32社

【製品販売市場】 輸出志向型24社、国内市場型49社

【主な業種別内訳】 建材関連11社、食品・飲料8社、自動車関連6社、農業関連6社、縫製5社、輸入卸売5社、医療関連4社、靴3社、梱包資材2社ほか

【国籍】 日本41社、タイ12社、台湾5社、韓国5社、シンガポール5社、マレーシア3社、ミャンマー2社ほか

【独資/合弁】 外資100%68社、合弁12社、ミャンマー独資2社

SEZのインフラサービス

進出検討企業が最も危惧するのがインフラの問題。ティラワ SEZ 内外ではインフラ整備のため、下記のようなものがすでに稼働・着工されている。50MW ガスタービン火力発電所、ガスパイプライン、230kV 送電線、変電所(2017年7月完工予定)、33kV 配電網、上下水処理施設(当初能力は浄水6000MT/日、下水4800MT/日)、給排水管、光ファイバー通信、ワーカー用住宅。また、ティラワ内外で事業を推し進める JICA のインフラ整備は、次号詳しく解説する。

入居するメリットって一体？

ティラワ SEZ の入居メリットについて、細かく挙げればキリがないが、主に下記となっている。①9つの禁止業種以外の事業が可能②外資比率規制がない(独資が可能)③ MJTD オフィス1階にあるティラワ SEZ 管理委員会下にある「ワンストップ・サービス・センター」(OSSC)を通じて申請ができ、複雑な手続きを軽減できる④投資申請書の提出から30日以内に認可の可否がわかる(他の地域では一年以上かかることもある)⑤法人税や輸入関税の免税が手厚い⑥ SEZ 外と比較して安定的なインフラを利用できる。また、住居環境が整うヤンゴンから車で1時間ほどといった距離的なことも駐在員にとってはメリットとなっている。

このコーナーでは、MYANMAR JAPON 代表の永杉が毎回、ミャンマーの第一線で活躍するリーダーと対談し、“現代ミャンマー”の実相に迫ります。

今回のテーマ

自身もホテルを経営。ミャンマー観光を牽引する重鎮

豊富な観光資源を有するミャンマー 来緬観光客数の目標は748万人

永杉 本日はミャンマーホテル・観光省のオウン・マウン大臣にお話を伺います。早速ですが、ミャンマー観光業界の現状についてお話いただけますでしょうか。

オウン 2016年にミャンマーを訪れた観光客は290万人でした。一方、17年は1月～5月だけで150万人と、前年

比125%の伸びを見せています。内訳はASEAN諸国が68%、西ヨーロッパが19%、北米が7%となっています。日本人だけですと、2016年でおおよそ10万人と、全体の3%程度に伸びています。業界全体としてみれば、所轄官庁やミャンマー観光連盟(MTF)などが官民一体となって施策を講じていることもあり、順調に成長していると言えるでしょう。

永杉 ミャンマーは経済だけでなく、観

光面でも注目を集め始めているということですね。今後のさらなる発展に向けて、具体的な目標などはあるのでしょうか。

オウン ミャンマーは以前、ノルウェー政府とアジア開発銀行の支援で、観光マスタープランを作成しました。その中で2020年来緬観光客数748万人という目標を掲げています。プランでは観光に関わる38のプロジェクトが設定されていて、それらを順次進めながら我が国の魅力を高める取り組みを行っています。

永杉 2020年までに748万人ということ、17年予想比2倍以上という目標値です。達成の見通しはいかがでしょう。

オウン 達成するだけでなく、上回るのではないかと考えています。例えば、観光アライバルビザ発行も間もなく始まる予定ですし、バガンを始めとした主要観光地付近の空港への直行便誘致なども積極的に進めています。我が国の観光といえば遺跡が有名ですが、北に行けば雪山、南に行けばビーチもあり、豊かな自然を有しています。また、多民族が織りなす文化の多彩さは他の国では中々見られません。こうした観光資源を生かす施策を着実に進めていけば、必ず目標を達成できると信じています。

永杉 バガンのお話が出ましたが、私が今ミャンマーに住んでいる理由の一つはバガン遺跡を目にしたことととっても過言ではありません。一人の人間の人生を変えるくらいの力があの遺跡にはありますね。

オウン それはうれしいですね。バガンを気に入られたのならば、ラカイン州の古都マウーもぜひ訪れてほしいですね。こちらの遺跡はレンガではなく石でできているので、また違った趣を感じていただけるのではないのでしょうか。マウーは2019年を目途にユネスコ世界遺産登録を目指しています。さらに、観光客誘致のためにマウー国際空港の着工が決定いたしました。

永杉 承知しました。年内にもぜひ伺わ



順調な伸びを見せるミャンマーの観光業界
さらなる発展に日本との協力体制を望む

ホテル・観光大臣

オウン・マウン氏

U Ohn Maung

1947年、シャン州ニャウンショウ生まれ。インレー湖近くでゲストハウスを営んでいた経歴を持ち、89年に国民民主連盟(NLD)入党。90年の選挙で議席を獲得して国政の世界に入る。その後、インレー・プリンセスリゾートの経営などで成功を収め、2012年から再度NLDに入党した。



せていただきます(笑)。ところで観光客誘致に向けた開発が進んでいるようですが、そのほかに開発の動きはありますか？

オウン まず、シャン州にあるインレー湖の玄関口であるヘーホー空港の拡張工事が決定しています。また、南部にあるメルギー諸島周辺への観光客誘致のため、モウラマイン空港とコータウン空港の拡張も決定するなど、全国的に開発を進めています。

永杉 ミャンマーの観光が成長する一方、問題も顕在化してきています。特に取り沙汰されるのが宿泊コストの高さです。この問題について、どのようにお考えでしょうか。

オウン 宿泊費を下げるには、ホテルの数が増えて適切な競争が行われることが肝要です。現在ミャンマーには内外資合わせて1500軒のホテルがあり、総部屋数はおよそ6万室にのぼりますが、年内には7万5千室になる見通しです。ホテルやゲストハウスを営業するには政府の許可が必要ですが、その数は近年右肩上がり。近い将来、宿泊費は落ち着くことになるでしょう。

両国民が行き来する未来のため 政府レベルの協力は不可欠

永杉 大臣は今年4月に栃木県日光市を視察されています。その目的と日光をご覧になった感想をお聞かせください。

オウン 日光には旅館や温泉、桜に加え、世界遺産である日光東照宮などの観光資源が揃っているの、それを肌で感じるために伺いました。視察にはミャンマーで温泉事業を営んでいる経営者3人にも同行してもらい、伝統文化や美しい自然を生かしながら観光客をもてなすホスピタリティを実際に体験してもらいました。また、農業観光はミャンマーも見習うべき点なので、日本一と称されるイチゴ農園も視察し、とても美味しかったのですが、一粒500円という値段には驚きましたね(笑)。

永杉 先程、ミャンマーを訪れる日本人は全体の3%程度に増えたというお話がありました。これをさらに増やすための施策等がありますでしょうか。

オウン まず、9月21～24日の日程で東京ビックサイトで開催される「ツーリズム EXPO ジャパン」に参加することが決まっています。ンガパリなど、ミャンマーにある素晴らしいビーチを紹介することはもちろんですが、今回のイベントでは地方に住む民族の食や踊り、チン州で推進している民泊ツーリズムなど、我が国の新しい魅力も紹介したいと考えています。

また、日本の支援でネピドーに桜並木を作る計画も進行しています。初回の植樹イベントは今年の1月29日に開かれ、まずは100本を植樹しました。今回は来年の1月14日に行われ、今後2

年ほどかけて1000本の桜を植える予定です。いつの日か、日本人がネピドーの桜を見に来てくれるようになったら素晴らしいですね。

永杉 日本の奈良時代の貴族行事が起源とされる、現代の大衆文化の一つに「お花見」があります。ミャンマーでも拡がれば嬉しい限りです。ところで、日本とミャンマーの間には長い歴史があります。大臣は今後の日本とミャンマーの関係について、どのようにお考えでしょうか。

オウン 日本は幅広い分野でミャンマーの発展に支援してくれています。観光分野においても、樋口建史・在ミャンマー日本大使がチン州を視察に訪れてくださるなどの協力を頂いております。しかし、現在ミャンマーと日本には観光に関する二国間の覚書等は締結されていません。ASEAN+3では観光の覚書がありますが、これを二国間のものに発展させ、より両国の関係を深めたいと思います。ぜひ日本政府にはこれを前向きに考えていただき、両国民がお互いの国を頻繁に行き来できるようになればよいと考えております。

永杉 本誌は日本政府関係者も多くご覧いただいておりますので、これをきっかけにぜひ実現に向かってほしいものです。日本人がミャンマーの遺跡や桜に心を動かされ、ミャンマー人が日本の世界遺産を楽しむといった未来が訪れることを私も強く願います。本日は公務が多忙の折、ありがとうございました。



永杉 豊
Nagasugi Yutaka
MYANMAR JAPON Co., Ltd. CEO
ビジネス情報誌「MYANMAR JAPON BUSINESS」、生活情報誌「ミャンジャポ!」、英語・韓国語ビジネス情報誌「MYANMAR JAPON + plus」発行人。ショールーム「The JAPAN BRAND」主宰者。日緬ビジネスに精通する経済ジャーナリストとして、ミャンマー政府の主要閣僚や有名企業オーナー、訪緬された日本政府の要人などと誌面に対談している。ミャンマービジネスの支援や投資アドバイスも務める。一般社団法人日本ミャンマー友好協会副会長、公益社団法人日本ニュービジネス協議会連合会特別委員、ヤンゴン和僑会代表。

Myan Japo 特製MAP

使える

- 地図の記号**
- ☐ カフェ
 - ☐ レジャースポット
 - ☐ 銀行・両替
 - ☐ ホテル
 - ☐ ナイトスポット
 - ☐ ハコダ・寺院
 - ☐ 病院
 - ☐ ショッピング
 - ☐ 観光地
 - ☐ 大使館
 - ☐ ミヤンマー料理屋
 - ☐ SPA・マッサージ
 - ☐ オフィス
 - ☐ 韓国料理屋
 - ☐ スポーツ施設
 - ☐ 工場
 - ☐ その他料理屋
 - ☐ ゴルフ場・練習場
 - ☐ マンション

以下のサイトからPDF版がダウンロード
できます <http://myanmarjapo.com>

ミヤウダゴン
မြန်မာ့ဝန်ထမ်း





**タクシ-運転手対策の
ミャンマー語表記**

「ラン」とはミャンマー語
で道 (Road・Street) のこと。
「ブ-ダー」とはミャンマー
語で駅 (Station) のことを
指す。



ヤンゴン(ラング-ン)全域
Yangon (Rangoon)

©MYANMAR JAPON CO., LTD.
MAP の無断転載を禁じます

1
2
3
4

スタッフが周って吟味した、必見の賃貸情報だけを厳選。優良物件ばかりをご紹介します。今すぐ問い合わせを!

MJビジネスがおすすめする注目のオフィス・工場物件!

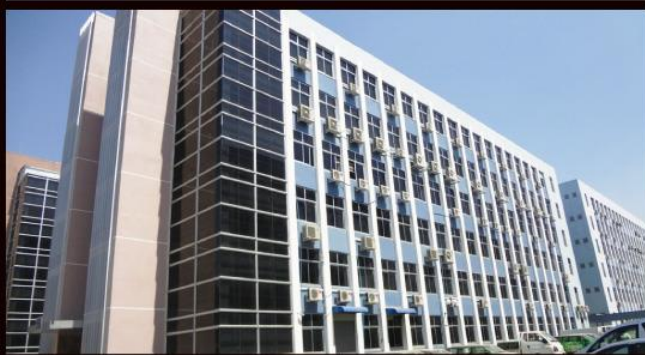
| 物件の種類(土地/工場/倉庫) | 場所 | 面積 | 金額 | コメント |
|-----------------|---------------|---------|--------------|------------|
| オフィス | バハン | 100㎡ ~ | 1㎡ / \$26.9 | |
| オフィス | MICT Park ライン | 95㎡ | \$3,000 | 駐車場1台分【無料】 |
| 倉庫 / 工場 | 東ダゴン工業団地 | 1.5エーカー | 100Lakhs MMK | 事務所付き、倉庫付き |
| 倉庫 / 工場 | 東ダゴン工業団地 | 1エーカー | 80 Lakhs MMK | 2006㎡ 倉庫付き |
| 倉庫 / 工場 | 東ダゴンキャナ工業団地 | 1エーカー | 60 Lakhs MMK | 2090㎡ 倉庫付き |
| 倉庫 | サウスオッカラ工業団地 | 1393㎡ | 40Lakhs MMK | ホールタイプ |
| 倉庫 | タケタ工業団地 | 572㎡ | 50Lakhs MMK | ホールタイプ |
| 倉庫 | サウスオッカラ工業団地 | 116㎡ | 10Lakhs MMK | ホールタイプ |
| 土地 | ダゴンセイッカン工業団地 | 1エーカー | 30Lakhs MMK | 1858㎡ 倉庫付き |
| 土地 | セイッカン工業団地 | 1.5エーカー | 75Lakhs MMK | 2322㎡ 倉庫付き |
| 土地 | 東ダゴンキャナ工業団地 | 1エーカー | 40Lakhs MMK | 557㎡ 倉庫付き |
| 土地 | 東ダゴンキャナ工業団地 | 2エーカー | 80Lakhs MMK | 2248㎡ 倉庫付き |
| 土地 | タケタ工業団地 | 1.2エーカー | 50Lakhs MMK | 743㎡ 倉庫付き |
| 土地 | ダゴンセイッカン工業団地 | 2.5エーカー | 140Lakhs MMK | 2229㎡ 倉庫付き |
| 土地 | ダゴンセイッカン工業団地 | 1.1エーカー | 150Lakhs MMK | 3019㎡ 倉庫付き |
| 土地 | ダゴンセイッカン工業団地 | 3エーカー | 250Lakhs MMK | 3716㎡ 倉庫付き |



1 26.9\$/1㎡
OFFICE RENTAL
バハン地区
MIMOSA Serviced Office Rental
3/6階
あり



2 2,000\$
OFFICE RENTAL 63㎡
MICT パーク
3/6階
あり
駐車場有【1台分無料】、管理費\$100/月



3 3,000\$
OFFICE RENTAL 95㎡
MICT パーク
3/6階
あり
駐車場有【1台分無料】、管理費\$150/月



4 1,900\$
2LDK 約187㎡
ライン地区
17階
あり
家具家電付き、インターネット

アイコン詳細

問取り・平米数

エリア

階数/総階数

エレベーター

物件詳細

※1Lakhは10万Ks、10万Ksは約8,000円(9月9日現在)

物件に関する
お問合せ

✉ info@myanmarjapon.com ☎ +95-9-2544-91345

5F, Sakura Tower 339 Bogyoke Aung San Rd.
Kyauktada T/S, Yangon

担当: 下山/ティンザー 日本語・英語・ミャンマー語対応!

日緬ビジネスに役立つニュースを一挙掲載！

BUSINESS NEWS DIGEST

ビジネス・ニュース・ダイジェスト



シャン州のビジネスセンターに MPTの高速ネット通信設備を設置

シャン州のタウンジーに新たに建てられたタウンジー・ビジネス・センターに、MPTのLTE+ (4 × 4 MIMO) 設備が設置された。同センターは同州の新たなビジネス拠点として建てられたもので、高速ネット通信が利用できるようになることで、企業の利便性が高まることが期待される。MPTの担当者は「経済成長に貢献するため、今後も快適なネットワークを提供していきたい」と語った。

ANA 成田→ヤンゴン便が前倒しに 国内乗り継ぎが当日中に可能

全日空ヤンゴン支店は8月15日、成田空港発ヤンゴン空港着のANA813便を、ウインターダイヤとして10月29日より成田11:00発→ヤンゴン16:30着に発着時間を前倒し、ミャンマー航空当局からも承認を得たと発表した。現在、ANA813便は、ヤンゴン空港に18:30に到着するが、ヤンゴン空港からネピドー・マンダレー・バガンへ向かうミャンマー国内線最終便の出発時刻は、17:30や18:00発となっている。今回の時刻変更により、10月29日以降はANAを利用して東京(成田)からネピドー・マンダレー・バガン等まで当日中の乗り継ぎが可能となる。また、ヤンゴン空港への到着便が最も集中する時間帯は18:00～19:00だが、ANA813便の

到着時間が18:30から16:30へ前倒しになることにより、ヤンゴン空港の入国審査混雑や着陸混雑の解消にもつながるとしている。

清涼飲料水「Blue Mountain」が プロモーションイベントを実施

アサヒロイヘインが販売している清涼飲料水「Blue Mountain」が8月19日、20日の両日、ミャンマープラザでプロモーションイベントを開催した。現在Blue Mountainにはラッキードローがついており、Suzukiの自動車「Ertiga」をはじめ、オートバイやスマートフォンなど豪華賞品が当たるキャンペーンを実施中。イベント当日は有名歌手Thar Ngeも登場。来場者の中からSamsung S8の当選者が4名出るなど大いに盛り上がった。Blue Mountainは2010年から販売が開始された商品で、Sparkling、Orange、Cola、Cream sodaなど、豊富なフレーバーが人気。



日本人会がサクラタワーに移転 図書館の引っ越しも完了

今年で50周年を迎えるヤンゴン日本人会が8月14日、ダウンタウンのサクラタワー13階(エレベーター表示は12A)に移転した。約7000冊の蔵書を持つ図書館のほか、20名程度が利用できる会議室、子どもを遊ばせられるプレイエリアなどが揃っている。開館時間は10:00～17:00、ティンジャン期間を除き毎日開館。入会希望者は、入会届に記入し日本人会へ持参のうえ、個人会員は60ドル、法人会員は350ドルを支払えば会員になれる。詳しくは日本人会(09-3153-6921または09-4210-85893)まで。



日本人歯科医師常駐の デンタルクリニックが開業

医療法人社団秀雄会(東京、埼玉)は、ヤンゴン市内ヤンキンタウンシップに初の日本人向け歯科医院「SHWE BONE DENTAL CARE」をオープンした。日本製の医療設備を取り揃え、日本と同等の治療のクオリティを提供する。高度な滅菌装置、歯科用CT、日本製のデンタルユニットを設置し、一般治療から矯正、インプラントまであらゆる治療に対応。日本人歯科医師をはじめ、歯科衛生士、歯科技工士が常駐する。



日本ミャンマー共同制作映画 「My Country My Home」撮影開始

NHKグループの日本国際放送(JIB)は、ミャンマーの民間地上波チャンネルMNTVと、日本とミャンマーの友好の架け橋となる映画「My Country My Home」とそれに運動する形でテレビドラマの共同製作を発表し、日本国内で撮影がスタートした。映画の主な舞台は東京・高田馬場。ミャンマーの民主化を背景に、日本とミャンマー、二つの祖国の間で揺れるミャンマー人女子高生のひと夏の青春ストーリーを描く。テレビドラマと映画の連動による相乗効果で、ミャンマーでブームを生み出すことが狙い。主演はミャンマーを代表する女優のウィット・モン・シュエ・イー。助演はアウン・イェ・リン、森崎ウィンほか。放送予定は2018年1月下旬。30分×4話(ミャンマー国内で放送。日本での放送は未定)。



学生団体 M-Link が キャリアセミナーを開催

キャリア支援を目的とした学生団体M-Linkが8月5日、ヤンゴン在住の学生70名を対象としたセミナーを開催した。"学生と社会人の交流"を目的としたもので、MPTやユニリーバなど4社が参加。学生参加者からは「卒業後の就業に対してモチベーションが上がっ

た」などの声が聞かれた。また、同じくキャリア支援を目的とする社会人団体Wyneeとの共同開催でFintech関連起業家、投資家など5人のサクセスストーリーを直接聞くことができる"Human Library"を実施。ミャンマーの新卒人材を育成することを目的としている。その他情報は以下まで。<https://m.facebook.com/MyanLINK>



MPT、フリーダイヤル開始 通話料は1分で50Ks

MPTは、着信者が通話料を負担するフリーダイヤルのサービスを開始したと発表した。通話料は1分あたり50Ksで、初期費用は15,000Ks。番号は0800800-で始まり後ろに3ケタの番号を事業者が選ぶ仕組み。3ケタのうち最初の1ケタは事業分野別に指定。

利用者はMPTの携帯電話か固定電話を使用する必要があり、他社の電話からは利用できない。MPTは固定電話の普及にも力を入れており、電話加入権の費用を650,000Ksから325,000Ksに値下げしている。 [7Day Daily]

ヤンゴン証券取引所 株のネット売買開始へ

ヤンゴン証券取引所のテック・トゥン・ウー上級役員は、9月からオンラインによる株式の売買が許可される見込みであることを明らかにした。ミャンマー初の

株式市場では、売上の出来高が低調で株価も軒並み下がっているため、オンラインによる売買を許可することで、株式市場を活発にすることが目的。現在上場中の銘柄はFMI、ミャンマー・ティラワSEZホールディングス、ミャンマー・シチズン銀行、ファースト・プライベート銀行の4つ。今年中にMAPCO、グレートホーカム、ター・モー・ニューの3社が上場を目指している。 [The Voice]

2018年自動車輸入政策 日本中古車、全面輸入禁止か

2018年の車輸入政策が、11月または12月に発表されることがわかった。これは車両輸入管理委員会の委員が発言したもの。ミャンマー政府は国内の交通事情に合った左ハンドル車の輸入と国内生産に力を入れており、右ハンドルの日本製中古車は2018年から全面的に輸入が禁止されるのではないかとみられている。

国内生産では、スズキがティラワ経済特区に生産工場を開業する。また、ヤンゴン市郊外のレゲーで開発する韓国による工業団地にも、国外有名メーカーの生産工場が建設される話がある。

[7Day Daily]

ミャンマーの外国投資 3ヵ月強で目標額の半分超え

ミャンマー投資委員会(MIC)によると、4月1日から7月10日までの間に34億8,700万米ドルの外国投資が新たに許可され、外国投資が順調に入っていることがわかった。MICは2017年度の外国投資の目標額を60億米ドルと設定していたが、3ヵ月強でその半分以上を超えたことになる。一方、同期間に許可された国内投資額は8,390億Ksだった。

[7Day Daily]

ニュースメールの購読で他社と差別化しませんか？

MYANMAR
PREMIUM NEWS

現地提携メディアの最新ニュースが満載
(毎週2回以上、毎月80~100記事をメール配信)
MJビジネス編集部厳選

いつでも解約自由! 月2,900円 (税別)

MYANMAR
ミャンマー・ジャポン
JAPON

お申し込みは下記より
http://myanmarjapon.com/premium_news/



ミャンマーの人材情報



※1Lakhは10万Ks、10万Ksは約8,000円(9月9日現在)

| 年齢 | 性別 | 日本語 | 英語 | パソコンスキル | 希望給与 | その他 |
|----|----|-----|----|--------------------|------------|--|
| 31 | 男 | N2 | 中級 | MS office | 7 Lakh ks | 大卒(ミャンマー語専攻)、日本留学経験有り、電子工場にてQC経験4年間有り |
| 31 | 女 | N1 | 中級 | MS office | \$1,000 | 大卒(日本語専攻)、日本留学経験有り、日本滞在中、正社員として働いており、アドミニストレーション経験有り。2018年1月に帰国予定。 |
| 32 | 女 | N2 | 中級 | MS office | \$700 | 大卒(法律専攻)、日本語通訳経験有り |
| 31 | 女 | N1 | 中級 | MS office | \$1,200 | 大卒(日本語専攻)、日本留学経験有り。日本滞在中、正社員として働き、内定が決まり次第帰国予定 |
| 27 | 女 | - | 中級 | MS office | 5.5Lakh ks | 大卒(コンピュータ専攻)、MYOB、経理経験6年間有り |
| 33 | 女 | - | 初級 | MS office | 6.5Lakh ks | 大卒(ビジネスアドミニストレーション専攻)、LCCI III、CPA Part I、経理経験13年間有り |
| 28 | 男 | N2 | 初級 | MS office | 8Lakh ks | 大卒(日本語専攻)、ツアー会社にて経験や日本語通訳経験有り |
| 27 | 女 | - | 上級 | MS office, Autocad | 6Lakh ks | 大卒(土木専攻)、日系企業にてQSやAutocad Operator経験有り |
| 33 | 女 | - | 中級 | MS office | 6Lakh ks | 大卒(ロシア語専攻)、LCCI II、HRやAdmin経験有り |
| 30 | 男 | - | 上級 | MS office | 9Lakh ks | 大卒(電気学専攻)、電気サイトエンジニア経験有り |
| 32 | 女 | N2 | 中級 | MS office | 10Lakh ks | 大卒(経済学専攻)、日本留学経験有り、HRやAdmin経験4年間有り |

ミャンマージャパンから紹介した人材をご採用いただくと……

ビジネス人材教育セミナーの16時間分を無料で受講いただけます(採用後2ヵ月以内)。入社後すぐに業務可能な人材として採用することができます。

人材に関する
お問合せ

✉ entry@myanmarjapan.com ☎ +95-9-2544-91345

5F, Sakura Tower 339 Bogyoke Aung San Rd.
Kyauktada T/S, Yangon

担当: 下山 / ティンザー 日本語・英語・ミャンマー語対応!



Yangon No.1の
夜景・眺望
が楽しめるレストランバー

fb.me/skybaryangon
@skybaryangon

Sky Bar & Dining



収容人数300人
セミナー・会議・結婚式各種対応

Banquet

プロも認める
スーパージュビレーションゴルフ
13D BIGBAN 導入
Golf Bar
巨大な3つのバー
Night Bar



25th Anniversary



HOTEL INFORMATION

- 日本人スタッフ常駐・24時間Wi-Fi無料
- 42m²の広い客室(バスタブ・ウォシュレット・バルコニー)
- 朝食ブッフェ(日本食・American Breakfast)
- クレジットカード利用可能(VISA / MASTER / JCB)
- ATMコーナー設置(AYA / CB / KBZ / UAB)

YANGON INTERNATIONAL HOTEL JAPAN

☎ (+95)1-231-6001~4, (+95)1-229-224~9

y-intl-hotel.com

📍 No.330 Ahlone Road, dagon TSP. ✉ ygnithotel@gmail.com





MYANMAR JAPON BUSINESS

ミャンマービジネス 必携の一冊!

効果抜群

MYANMAR JAPONの広告

ミャンマーのビジネスマン支持率No.1メディアといえ、**「ミャンマー・ジャポン」(MJ BUSINESS)**。ヤンゴンでのビジネスシーンに欠かせない情報を網羅し、注目度は抜群。ビジネスニュースから政治経済、企業のトップインタビュー、ゴルフレッスンまで**“使える情報”**が満載です。ミャンマーでの事業活動に必携の一冊!



ティラワ経済特区マップが完成! MJビジネスは製造業を応援します!

①ミャンマー初、ティラワ経済特区マップ!

ミャンマーでの情報誌では初となるティラワ経済特区(SEZ)マップを掲載中。稼働・建設中の企業名が一目でわかる便利さが特徴です。ヤンゴン市内からの行き方も明記。今後益々発展する同SEZの注目は高く、マップ周辺の広告出稿も募集中です。

②ティラワSEZ進出企業をクローズアップ!

現在79社が進出しているティラワ経済特区のゾーンA。そして、ゾーンBの開発も始まり、すでに3社が契約するなど同SEZは急激に成長中です。工場を稼働したら次に着手するのは、進出の告知。日系企業が必読する弊誌で強みをPRしてください!



【問い合わせ】 tel. +95-94-5828-3816(下山) E-mail. info@myanmarjapon.com

日本ブランドを紹介する常設ショールーム

The JAPAN BRAND

The JAPAN BRAND @ AEONorange 出展募集!

月1,980ドルで効果的にPR!



貴社の製品・サービス、TVで紹介します



さらにビジネス情報誌とFACEBOOKで情報配信。Sakura Tower・AEON orangeでテストマーケティング!

media. 1 TV

SKY NET m n tv



ミャンマー最大の民間テレビ局で **5分番組** 毎週**6本**放映中!

毎週現地ロケ・毎月24本以上O.A

media. 2 FACEBOOK



最新情報を発信! 日本ブランドの製品やサービスを毎日FACEBOOKで拡散します

FB「The JAPAN BRAND」

media. 3 MAGAZINE



ミャンマー人エグゼクティブ向け **ビジネス情報誌**

毎月2P以上のタイアップ記事掲載

☎ +95-9-31019178 ✉ info@japan-brand.jp 🌐 http://japan-brand.jp

MYANMAR JAPON CO., LTD. 5F.Sakura Tower, 339 Bogyoke Aung San Rd, Kyauktada TSP, Yangon



第27回 中国企業の投資と日本

中国企業によるミャンマーへの投資は累計190億ドル（1988年～2017年7月末）を超え、外国投資認可額全体の26%以上を占めている。近年、日本を含む諸外国がシンガポールを経由して大規模投資をしていることもあり、今年か来年あたりにはシンガポールにその座を明け渡すことが想定されているが、それでも中国からの投資はミャンマーにとって存在感があることに間違いはない。

中国からの投資は11年の民政移管後は徐々に減少してきていたが、近年は再び勢いを増している。16年度の4億8200万ドル（38件）を分析してみると、約30件はCMP（Cutting Making Packing）形態の縫製業となっており、その他はセメント、砂糖・糖蜜、ポリ袋、電線の製造やガス火力発電所などとなっている。金額的にはセメントの製造工場とガス火力発電所への投資額が全体の大部分を占めていると考えられる。17年度は7月末までの4ヵ月ですでに前年度の4億8200万ドルを上回っており、5億3700万ドル（21件）となっている。現在、投資企業管理局（DICA）が公表している資料から判断する限り、引き続きCMP形態の縫製業への投資が多いようである。

このように中国企業による投資は、縫製業への投資が多数を占めており、年に

数件、多額の投資があるという状況にある。

中国からの投資が縫製業に偏っている一方で、日本からの投資は非常に多岐にわたっている。縫製業だけでなく、ティラワ経済特区内における建材関連、食品、自動車関連、医療関連、ホテル等、また、経済特区の外においてもホテルやサービスアパート、複合不動産開発、病院、農業、食品・飲料分野などへの投資が行われている。政府開発援助、金融や保険分野での貢献、サービス業への投資など、なかなか統計資料だけでは判断できないものもあるが、日本のミャンマーに対する貢献度は他国に比較して間違いなく大きいと言える。

ミャンマーで事業を行うには様々な困難があることは事実であり、過度な期待を持つことは禁物であるが、中長期的にみて非常におもしろい国であると思う。特に製造業に関して思うことは、ティラワ経済特区の今後の拡張に期待するとともに、ティラワ水準とは言わないまでも製造業にとって他の選択肢となりうる工業団地の開発が行われることを望む。

中国の対ミャンマー投資

（単位：100万ドル）

| | 2011年度 までの累計 | 2012年度 | 2013年度 | 2014年度 | 2015年度 | 2016年度 |
|-------|-----------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 投資認可額 | 13,948 | 231 | 56 | 511 | 3,323 | 482 |

JETRO ストリーム

ミャンマーの新潮流 第31回

執筆者プロフィール：◆山岡寛和（やまおかひろかず）

日本貿易振興機構（JETRO）ヤンゴン事務所長。1961年生まれ、中央大卒。JETRO・ミラノ、アトランタ、ハノイ事務所勤務。直近8年は日本企業の海外展開支援業務に従事。2015年10月より現職。

「ミャンマー経済の基礎知識」を刊行

1960年代初頭まで、ミャンマーは東南アジアで最も豊かな国として繁栄しました。しかしその後、ビルマ式社会主義体制のもと閉鎖的な統治体制が敷かれ、極端な国有化政策が進められた結果、経済は破綻し、かつての繁栄から一転し最貧国に転落。その後も長期にわたり低迷が続きましたが、2011年の民政移管・新政権発足を契機に、テイン・セイン大統領（当時）は次々と改革を実行し、ミャンマーは民主化に向け大きく動き出しました。15年10月の選挙で大勝した国民民主連盟（NLD）による新政権が16年に樹立され、アウンサンスーチー国家顧問のリーダーシップのもと、引き続き内外の諸改革に取り組んでいます。JETROは、1988年に始まった軍事政権時代からミャンマーの社会、政治、経済、産業等につき将来の展望を含め調査を進めてきましたが、この度これら調査の成果をとりまとめ『ミャンマー経済の基礎知識』を刊行しました。ミャンマーのあらましを短時間で把握していただける入門書としてご利用頂きたいと思っております。

【全9章、ミャンマーにおけるビジネスの必須項目を網羅】

ミャンマー経済の基礎知識は全9章で構成されています。1章から3章では、地理・社会、政治動向、経済、産業構造、市場動向を分析し、民主化の進展による近年の大きな変化につい



て紹介しています。第4章では貿易政策と二国間貿易の実態を分析し、グローバル経済におけるミャンマーの立ち位置や他国との依存関係を紹介しています。第5章と6章ではミャンマーへの投資動向、対ミャンマー投資の基礎知識を紹介していますが、新たに施行された投資法とSEZ法の違いについても分析しています。第7章では労働関連法や外国人に対する法令を通して労働・雇用制度に関連事項を紹介しています。第8章では、主要産業（①農業、②製造業、③金融、④観光、⑤自動車・二輪車、⑥エネルギー）の現状を分析し、産業の実力を評価するとともに、今後の発展の可能性を展望しています。最終第9章では、ミャンマーのビジネスチャンスとともに、ビジネスの課題、リスク（カントリー・リスクとオペレーショナル・リスク）を明らかにし、まとめとして日本ミャンマー共同イニシアティブ（MJJI）の取組みを紹介しています。

本書の刊行により、CLMV（カンボジア、ラオス、ミャンマー、ベトナム）の基礎知識シリーズが完成しました。タイ（2015年刊行）を加えた全5冊を手に取り比較して頂くことでタイプラスワンに関する新たな発見があると思っております。



We Provide You with

Global Quality

Products & Services



DocuCentre-V Multifunction Devices deliver higher customer satisfaction through:-



INNOVATION



COST EFFICIENCY



PRODUCTIVITY



SUSTAINABILITY



J.D. パワー
“カラーコピー機顧客満足度”
5年連続 No.1*

* J.D. パワー アジア・パシフィック 2010-2014 年日本カラーコピー機顧客満足度調査SM。2014 年調査は従業員 30 名以上の企業 6,077 社から回答を得た結果による。
japan-jdpower.com

DocuCentre-V
Digital Colour Multifunction Device

Industry-leading, facial recognition technology
Simple and easy-to-use 9" Touch Screen
Fast Print & Smart Scan productivity



Mobile/ Tablet
PRINTING



DocuCentre-V C7775/ C6675/ C5575/
C4475/ C3375/ C3373/ C2275

経験豊富な常駐日本人エキスパートチームが
直接サポートします。

富士ゼロックスではここミャンマーでも日本人営業社員を通じ、
お客様のご要望にグローバル品質でご対応させていただきます。
また、富士ゼロックスのカスタマーエンジニアも常駐し、
必要に応じてお客様を訪問いたします。

む れ りょう
牟 禮 亮

日系企業様担当営業(ヤンゴン常駐)
E-mail ryo.mure@mnr.fujixerox.com
携帯 09-45371-0193
受付時間 平日 9時-17時



お はら ゆ き
小 原 由 紀

日系企業様担当営業(ヤンゴン常駐)
E-mail yuki.ohara@mnr.fujixerox.com
携帯 01-2305623~5
受付時間 平日 9時-17時

